

すべての町田市立小中学校図書館に  
「専任・専門の学校司書」の配置を求める請願（案）

【請願主旨】

現在町田市立小中学校図書館には、「教育支援ボランティア」としての図書指導員がおります。しかし現況の有償ボランティアでは学校図書館法第2条に定められた「学校の教育課程の展開に寄与する」機能は十分には果たしえないのが実状です。12学級以上の全国小中学校での司書教諭発令率がほぼ100%であるにもかかわらず、独自に予算をつけて「専任・専門」の学校司書を広く公募し、生き生きとした学校図書館の活用で充実した教育を実現している自治体は、全国ですでに45%（文部科学省公表「平成22年度学校図書館の現状に関する調査」）に上っています。こうした学校図書館は、いつも開いている、楽しい本が揃っている、子どもたちの読書相談に親身に応えられるといった多くの利点から、連日子どもたちで賑わい、子どもたちはより深く広く本の世界を楽しむことができます。

このように、司書教諭のみでは学校図書館の活用が十分にできない現状をしっかりと見極めている自治体は、厳しい財政のなかでもやり繰りをし、ボランティアではない学校図書館職員（学校司書）を置いているのです。

町田で生まれ育つ子どもたちが、豊かで楽しい学校図書館をほとんど体験しないままに小中学校を卒業していくのを、私たちは見過ごしにはできません。自分の頭で考え判断し行動できる、自立した子どもたちを育てていくためには、現行の教育支援ボランティアだけに学校図書館を任せるのではなく、高い資質と意欲を持った「専任・専門の学校司書」をおき、子どもたちの読書の広がりを支え、教員との連携の下、あらゆる教科での学校図書館活用を積極的に推し進める必要があります。ぜひとも町田市でも、すべての公立小中学校図書館に専任・専門の学校司書の配置をご検討下さい。

町田の子どもたちの輝く未来を願って、以下のことをここに請願します。

【請願項目】

1. すべての小中学校に専任・専門の学校司書を公募で配置すること。